

○ 令和6年度大学生による地域活性化支援事業一覧表

区分	1 一般	2 一般	3 一般	4 一般	5 一般	6 阪神間モダニズム	7 一般	8 一般
団体名	園田学園女子大学 教職サークル ゆかなか	園田学園女子大学 経営学部ビジネス学科 大江篤研究室	園田学園女子大学 経営学部ビジネス学科 足立邦子研究室	関西学院大学 栗田研究会	関西学院大学 ソーシャルメディア研究会	大手前大学 海老ゼミナール	武庫川女子大学 社会情報学部 井上重信ゼミナール (cosmecco LUNA)	武庫川女子大学 音楽学部 浜甲カンタービレ
応募事業の名称	外国にルーツのある子どもとその保護者の支援活動	塚口ゆめ未来プロジェクト	尼崎プロジェクト	尼崎を甘〜く	子どもでも大人でもない“真ん中世代”が繋ぐ「ネットとわたし」プロジェクト	西宮(阪神間)の地域観光資源の調査とタブロイド紙制作	夜間の交通事故を減らすための反射材の認知拡大と普及促進プロジェクト	団地・大学交流プロジェクト 浜甲カンタービレ
実施概要	尼崎市内に在住している外国にルーツのある小学生等を支援するため、次の①〜③に取り組む。 ①子ども向け学習会等に参画し、児童の学習・生活を支援 ②小学校での児童の学習支援や学校生活支援 ③①と②と並行して児童が学習場面で必要とする語句を選定し、資料を作成	住民が地域の良さを再認識するため、学生目線で主体的に地域課題を研究し、従来の地域行事参画を企画することにより塚口駅前商店街の課題解決策を提案する。今年度は阪急塚口駅周辺のみならず、JR塚口駅周辺もフィールドとする。	コロナ以降も持続可能且つ地域活性化を目指したまちづくりを目的として、次の①、②をもとに学生目線で情報発信を行い、ポストコロナにおける地域活性化の企画を提言する。 ①阪神電鉄のWEBサイト及び「公園ガイド」をよく研究し、公園のフィールドワークを実施し、情報発信を行う。 ②観光産業の担い手であるホテルで働く人々に「尼崎で働く」ということ、サービス業従事者のライフ・ワーク・バランスについてインタビュー調査を実施する。	尼崎の魅力を県内外に発信するため、次の①〜⑤に取り組む。 ①「深夜営業の店」や「銭湯」を特集した雑誌「甘尼」の発行と阪神沿線等への配架 ②あまがさき観光局のインスタとの共同投稿等による尼崎の飲食店を紹介 ③地方創生とSDGsをテーマとしたイベント「AMAWORLDVES」の開催 ④あまがさき観光局と協力した訪日外国人の調査に基づく、しないへの誘客に向けた政策の提言	子どものネット・SNSトラブルを防ぎ、上手に活用するため、子どもと年齢が近い大学生が小学校等を訪問し、学生目線で実際の失敗談・経験談を伝え、ネットの向き合い方を具体的に双方向で考える講演会を開催する。また、ネット講演会の開催を踏まえ、保護者や先生、行政等の大人と議論を行うネット懇談会の場を設け、地域全体のネットリテラシー向上に繋げる。	阪神南地域の観光コンテンツの効果的な発信方法を検討するため、西宮市都市ブランド発信課、一般社団法人にしのみや観光協会と連携し、西宮市内の店舗やミュージアム等の観光施設を調査する。調査した情報に基づき、阪神間の地域観光情報を掲載したタブロイド紙を制作するほか、駅情報アプリekinoteにて情報発信する。	高齢者や学生、妊婦、障害者などが夜間に事故に遭わないようにするため、反射材の着用に向けた取組として、阪神南地域内の警察署、市役所、高齢者施設、学童施設等でのフィールドワークの実施及び反射材の商品化やワークショップイベントを実施する。	浜甲子園団地のコミュニティの活性化と、快適で安全な住み良い魅力あふれる街としての拡充を図るため、広報活動を実施し、高齢者だけでなく、子育て世代や子供を含む多世代層を対象にした参加型音楽会を実施する。
認定額	170,000	200,000	197,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000
連携先	尼崎市総合政策局協働部ダイバーシティ推進課、尼崎市立小学校	塚口商店街、尼崎市都市整備局土木部道路課	阪神電鉄沿線価値創造推進室、尼崎造園事業協同組合、都ホテル尼崎、尼崎ホテル開発株式会社 ホテルヴィスキオ尼崎	(株)ホンダカーズ尼崎、阪神電鉄沿線価値創造推進室、あまがさき観光局	宝塚市立中山台小学校、西宮市立東山台中学校、関西学院中等部・高等部	西宮市産業文化局都市ブランド発信課、一般社団法人にしのみや観光協会	日本反射材普及協会、(株)プランツキューブ、その他交渉中	UR兵庫エリア経営部企画課(阪神班)、浜甲子園団地自治会、一般社団法人まちなね浜甲子園